

# 数学特別講義F

## 数論特論(修)

### 多様体論特殊講義F III (博)

田口 雄一郎 講師

(東京工業大学 教授)

<p>談話会</p>	<p>12月19日(月) 16:00~</p> <p>クンマー忠実体の構成について</p> <p>クンマー忠実体とは平たく言へば（遠アーベル幾何学的な議論に於いて）クンマー理論が有効に働く様な体であり、遠アーベル幾何学の「基礎体」として期待されてゐる。代数体や <math>\mathbb{Q}</math> 進体（さらに「sub-<math>\mathbb{Q}</math>-adic な体」）はその典型例であるが、それらの無限次代数拡大体でもクンマー忠実になり得る。ここでは sub-<math>\mathbb{Q}</math>-adic でないクンマー忠実体の構成法を紹介する。 さらに、その函数体版についての試みも紹介する。</p>
<p>講義期間 ・ 題目 ・ 内容</p>	<p>12月20日(火)~12月22日(木) 各日 15:00~18:00</p> <p>12月23日(金) 13:00~16:00</p> <p>※最終日のみ開催時間が変更になりました</p> <p>ガロア理論の楽しみ</p> <p>ガロア理論は現代数学に於いて基本的かつ重要な理論であり、代数学に於いては勿論、他の分野に於いてもガロア理論的な考へ方がしばしば活躍する。本講義に於いては、ガロア理論のヴァリエント（特に正標数の体のガロア表現と <math>\phi</math> 加群の対応）及びその応用等を紹介する。</p>
<p>備考</p>	<p>談話会・集中講義とも、対面(場所：川井ホール)とリアルタイム配信を実施します。講義の連絡、資料掲載は Google Classroom を用います。クラスコード・Zoomなどの詳細は、数学科・数学専攻のオンライン授業ポータルサイトを確認して下さい。</p>